

2027 年 4 月入学

山 口 大 学 大 学 院
人 間 社 会 科 学 研 究 科
經 济 学 ・ 經 営 学 專 攻

学 生 募 集 要 項

山 口 大 学

目次

アドミッション・ポリシー	1
一般入試（第1回、第2回）	5
推薦入試	9
社会人入試（第1回、第2回）	12
学部3年次生を対象とした入試	15
外国人留学生入試（第1回、第2回）	18
共通事項	23
演習担当教員一覧	26

○山口大学大学院研究科のアドミッション・ポリシー

山口大学は、「山口大学憲章」に掲げる基本理念に基づき、大学院のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を定め、「発見し、はぐくみ、かたちにする」を実践し、地域、日本、世界に寄与できる人材の育成を目指している。そのために、次のような学生の入学を求めている。

●求める学生像

- ・ 「発見し、はぐくみ、かたちにする」を実践して理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能及び意欲をもつ人
 - ・ 様々な視点から物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる人
 - ・ 豊かな人間性と社会性を備え、自律心と倫理観をもって他者と協働することができる人
- このような学生を適正に選抜するために、大学院の募集単位ごとに、多様な選抜を実施する。

○人間社会科学研究科のアドミッション・ポリシー

本研究科は、人と社会に関する学問分野や専門領域の研究をさらに深化させ、広い視野をもって地域、日本、世界に寄与できる人材を養成することを目標とする。そのため、各専門分野についての基礎学力があり、各分野における問題を掘り下げ、その解決に、学際的視点も含め、積極的に応えていく意欲のある学生を、広く受け入れる。

◆求める学生像

- ・ 人や社会に関する専門的な知識・技能に関心を持ち、研究を通して、より深くそれらを理解し学ぼうとする人
- ・ 優れたコミュニケーション力や多様な文化的背景を有する人々に関心を持ち、地域社会や国際社会の人々と協働しようとする人
- ・ 一人一人の人間が中心となる社会を目指し、社会における諸課題の解決のために自己研鑽の意欲を持つ人
- ・ グローバルで持続可能な共生社会の実現に向けて世界で活躍する意欲のある人

各専攻の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）、入試区分及び選抜方法は以下のとおりである。なお、いずれの入試においても、募集単位は「専攻」とする。

【経済学・経営学専攻】

経済学・経営学専攻では、経済社会の活動に伴って生起する諸問題を認識し、それらを解決するための具体的な方法を考え出すことができる研究者やその他の専門的な業務の従事者を養成することを目標とする。そのため、入学者選抜においては、今日の現代社会の基本的な諸問題に深い関心を持ち、経済あるいは経営に関する総合的理解を深めるとともに専門的知識を身につける意欲と基礎能力を持つ者を総合的に判断して受け入れる。

◆求める学生像

- ・ 国際及び地域経済、企業経営、企業法務など今日の現代社会の基本的な諸問題に深い関心を持っている人
- ・ 経済あるいは企業経営に関する総合的理解を深めるとともに専門的知識を身につけ、研究者やその他の専門的な業務の従事者を目指し、将来、大学院博士課程に進む意欲を持つ人
- ・ 地域社会及び地方自治体にあって地域の活性化と再生に積極的に関わろうと考えている人
- ・ 経済や企業経営を学び国際的な舞台で活躍することを考えている人

以上のような観点から、専攻の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に従った入学試験を、次の入試区分及び選抜方法により実施する。なお、定員は下記の入試（①一般入試～⑥学術交流協定に基づく渡日前入試）をあわせて22名とする。

①一般入試

筆記試験（論文）、口述試験により判定する。

《評価基準》

筆記試験（論文）：志望研究科目についての筆記試験（論文）を課し、研究を遂行するために必要な専門的知識を有しているかを評価する。

口述試験：志望研究科目についての理解、志望理由等を問い、研究を遂行するために必要な意欲と基礎能力を有しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	○

②推薦入試

推薦要件を満たした上で、口述試験により判定する。

《評価基準》

口述試験：志望研究科目についての理解、志望理由等を問い、研究を遂行するために必要な意欲と基礎能力を有しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
口述試験	◎	○	○

③社会人入試

2年以上の社会人経験等を出願資格とし、筆記試験（小論文）、口述試験により判定する。

《評価基準》

筆記試験（小論文）：志望研究科目についての筆記試験（小論文）を課し、研究を遂行するために必要な専門的知識を有しているかを評価する。

口述試験：志望研究科目についての理解、志望理由等を問い、研究を遂行するために必要な意欲と基礎能力を有しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	○

④学部3年次生を対象とする入試

大学3年次に在学するもので、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得見込みの者とし、筆記試験（論文）、口述試験により判定する。

《評価基準》

筆記試験（論文）：志望研究科目についての筆記試験（論文）を課し、研究を遂行するために必要な専門的知識を有しているかを評価する。

口述試験：志望研究科目についての理解、志望理由等を問い、研究を遂行するために必要な意欲と基礎能力を有しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	○

⑤外国人留学生入試

筆記試験（専門科目）、口述試験により判定する。なお、日本語能力に関する要件として、日本留学試験の日本語を受験し、「聴解・聴読解」「読解」の合計点が230点以上、「記述」は33点以上の成績を修めていること、または日本語能力試験を受験し、N1の認定を受けていることとする。

《評価基準》

筆記試験（専門科目）：志望研究科目についての筆記試験（専門科目）を課し、研究を遂行するために必要な専門的知識を有しているかを評価する。

口述試験：志望研究科目についての理解、志望理由等を問い、研究を遂行するために必要な意欲と基礎能力を有しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	○

⑥学術交流協定に基づく渡日前入試

学術交流協定校を卒業若しくは卒業見込みの者等を出願資格とし、申請書類及び面接等により判定する。なお、日本語能力に関する要件として、日本留学試験の日本語を受験し、「聴解・聴読解」「読解」の合計点が230点以上、「記述」は33点以上の成績を修めていること、または日本語能力試験を受験し、N1の認定を受けていることとする。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
申請書類	◎		
面接	◎	○	○

【一般入試（第1回，第2回）】

一般入試（第1回，第2回）

I 募集人員

プログラム	コース	募集人員
経済学	経済社会政策	22名
経営学	中山間地マネジメント 医療・福祉経営 税務	

※募集人員は第1回及び第2回の合計数です。公共管理コースは別途募集します。

II 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

1. 大学を卒業した者または令和9年3月末日までに卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者または令和9年3月末日までに授与見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または令和9年3月末日までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または令和9年3月末日までに修了見込みの者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または令和9年3月末日までに修了見込みの者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者または令和9年3月末日までに授与見込みの者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和9年3月末日までに修了見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
9. 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月末日までに22才に達しているもの
11. 上記1～10にかかわらず、令和9年3月末日までに次のいずれかに該当する者で、所定の単位を優れた成績で修得したと本研究科において認めたもの

- (1) 大学に3年以上在学した者
 ※学部3年次生を対象とする入試に関する募集要項については「学部3年次生を対象とする入試」を参照してください。
- (2) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (注) II出願資格8～10（10(4)を除く。）により出願しようとする者は、第1回出願希望者は令和8年9月11日(金)、第2回出願希望者は令和8年12月8日(火)までに、出願資格認定申請を行い、事前審査を受ける必要があります。

なお、様式は申請希望者にのみ大学院係より送付します。第1回出願希望者は令和8年8月28日(金)、第2回出願希望者は令和8年11月25日(水)までに必ず下記照会先へ出願資格認定申請書(様式)の送付依頼をしてください。

照会先：〒753-8514 山口市吉田1677-1
 山口大学経済学部大学院係
 TEL：083-933-5597 E-mail：ec191@yamaguchi-u.ac.jp

Ⅲ 出 願 手 続

1. 出願期間

第1回	令和8年9月28日(月)～10月5日(月)
第2回	令和9年1月4日(月)～1月8日(金)

- (1) 持参による出願は、8時30分から17時までとします。
- (2) 郵送の場合は、第1回及び第2回ともそれぞれ出願期間最終日までに必着とします。

2. 出願書類等

番号	書 類 等	摘 要
1	入学願書	本研究科所定の用紙、志望専攻の入学願書を用いること。
2	写真票・受験票・あて名票	本研究科所定の用紙、写真票には出願前3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼ること。
3	卒業(見込)証明書	II出願資格2により出願する者は提出を必要としない。
4	学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請予定証明書	II出願資格2に該当する者のみ提出すること。
5	志望理由書	本研究科所定の用紙。
6	成績証明書	出身大学長又は学部長が証明し、厳封したもの。
7	研究計画書	本研究科所定の用紙。 事前に指導希望教員と相談のうえ作成、提出してください。 教員との事前相談については、大学院係が窓口となりますので、必ず以下までお問合せ下さい。 山口大学経済学部大学院係：ec191@yamaguchi-u.ac.jp

8	TOEICのスコアシート又はTOEFLのスコアレポート(どちらも原本)	TOEICのスコアシートについては、令和6年4月以降に受験したものを提出すること。提出対象となるスコアは、公開テストもしくは団体特別受験制度<IP>のものとする。また、TOEFLのスコアレポートについては、有効期限内のものに限る。
9	証明書(出願資格6用)	本研究科所定の用紙、出願資格6による出願者のみ提出すること。出身学校長又は在籍する学校の学校長が証明したもの。
10	検定料 30,000円 の払込を証明する書類 (コピー可)	<p>払込取扱票に、氏名等必要事項及び、人間社会科学研究科経済学・経営学専攻 入試検定料、と記入のうえ最寄りのゆうちょ銀行(郵便局)から山口大学指定の口座へ振り込んだ後、ゆうちょ銀行(郵便局)から受け取った「振替払込請求書兼受領証」やATMで発行されるレシート(利用明細票)、ゆうちょダイレクトの場合は振込内容をご自身で印刷した書類を「入学願書」裏面の所定欄に貼付してください。「振替払込請求書兼受領証」は返送しませんので、原本が必要な場合はコピーの送付をお願いいたします。</p> <p>発行手数料は、必ず過不足のない金額をお振込みください。(指定口座への振込手数料は、申込者の負担とさせていただきます。)ゆうちょ銀行(郵便局)の窓口取り扱い、土・日・祝日が休業日なので注意すること。なお、納入された検定料は、24頁の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。</p> <p>【本学指定の振込口座】 ゆうちょ銀行 当座預金 01320-1-40704 支店番号 139 支店名 一三九店(イチサンキュウ店) (加入者名) 国立大学法人 山口大学</p>
11	受験票送付用封筒	封筒(切手不要)に、本人の住所・氏名・郵便番号を記入すること。(学内在籍者で窓口に取りに来る者は不要)

3. 出願方法

入学志願者は、出願書類等(振替払込請求書兼受領証を含む。)を取りまとめ、封筒により本研究科あてに提出してください。郵送する場合は、必ず書留速達郵便としてください。

4. 提出先

〒753-8514 山口市吉田1677-1
山口大学経済学部大学院係
TEL : 083-933-5597 FAX : 083-933-5514
E-mail : ec191@yamaguchi-u.ac.jp

IV 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力試験（筆記試験、口述試験）、成績証明書、TOEICまたはTOEFLのスコアシート等の提出書類を総合して行います。

○学力試験について

プログラム名	コース名	試験教科	備考
経済学	経済社会政策	筆記試験 (論文)	論文試験は募集要項(27頁)に記載の研究科目から、各自の志望研究科目1科目について行います。なお、選択する研究科目名を必ず入学願書に記入してください。
		口述試験	30分程度行います。
経営学	中山間地マネジメント 医療・福祉経営 税務	筆記試験 (論文)	論文試験は募集要項(28頁)に記載の研究科目から、各自の志望研究科目1科目について行います。なお、選択する研究科目名を必ず入学願書に記入してください。
		口述試験	30分程度行います。

V 試験期日及び試験場

1. 試験期日等

第1回	令和8年11月4日(水)	13:00~14:30	筆記試験(論文)
		15:00~	口述試験
第2回	令和9年 2月 3日(水)	13:00~14:30	筆記試験(論文)
		15:00~	口述試験

2. 試験会場

山口大学経済学部(〒753-8514 山口市吉田1677-1)

VI 合 格 発 表

合格者の発表は下記の日時、場所に受験番号を掲示及びHP上に受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。不合格者に対する通知は行いません。

なお、電話その他による合・否の問い合わせには応じません。

	日 時	場 所
第1回	令和8年11月27日(金) 正午	山口大学経済学部玄関前
第2回	令和9年 2月26日(金) 正午	山口大学経済学部玄関前

【 推 薦 入 試 】

推 薦 入 試

I 募 集 人 員

プログラム	コース	募集人員
経済学	経済社会政策	若干名
経営学	中山間地マネジメント 医療・福祉経営 税務	

II 出願資格及び推薦要件

〔出願資格〕

次の1～2のいずれかに該当する者。但し、日本語を母語としない者については、次の1～2のいずれかに該当する者で、且つ、令和6年11月実施分以降に受験した独立行政法人日本学生支援機構が主催する日本留学試験の日本語科目の成績が、『聴解・聴読解』、『読解』の合計点については250点以上、『記述』については33点以上の者、又は、独立行政法人国際交流基金及び公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験においてN1を取得した者

1. 大学を令和8年4月から令和9年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において学校教育における16年の課程を令和8年4月から令和9年3月までに修了見込みの者

〔推薦要件〕

上記の出願資格を有し、既に100単位以上を修得し、そのうち60単位以上がA（優）以上であり、学部長又は指導教員が推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者

III 出 願 手 続

1. 出願期間

令和8年9月28日（月）～10月5日（月）

- (1) 持参による出願は、8時30分から17時までとします。
- (2) 郵送の場合は、出願期間最終日までに必着とします。

2. 出願書類等

番号	書 類 等	摘 要
1	入学願書	本研究科所定の用紙、志望専攻の入学願書を用いること。
2	写真票・受験票・ あて名票	本研究科所定の用紙、写真票には出願前3ヶ月以内に撮影した写真（4cm×3cm）を貼ること。
3	卒業見込証明書	出身大学長又は学部長が証明し、厳封したもの。
4	推薦書	本研究科所定の用紙を用い、出身大学の学部長又は指導教員が発行し、厳封したもの。
5	志望理由書	本研究科所定の用紙。

6	成績証明書	出身大学長又は学部長が証明し、厳封したもの。
7	研究計画書	本研究科所定の用紙。 事前に指導希望教員と相談のうえ作成，提出してください。 教員との事前相談については，大学院係が窓口となりますので，必ず以下までお問合せ下さい。 山口大学経済学部大学院係：ec191@yamaguchi-u.ac.jp
8※①	TOEICのスコアシート又はTOEFLのスコアレポート（どちらも原本）	TOEICのスコアシートについては，令和6年4月以降に受験したものを提出すること。提出対象となるスコアは，公開テストもしくは団体特別受験制度<IP>のものとする。また，TOEFLのスコアレポートについては，有効期限内のものに限る。
9※②	日本留学試験の日本語科目の成績通知証又は日本語能力試験・合否結果通知書（原本）	日本留学試験の日本語科目の成績通知証については，令和5年11月実施分以降に受験したものを提出すること。
10	検定料 30,000円	払込取扱票に，氏名等必要事項及び，人間社会科学研究科経済学・経営学専攻 入試検定料，と記入のうえ最寄りのゆうちょ銀行（郵便局）から山口大学指定の口座へ振り込んだ後，ゆうちょ銀行（郵便局）から受け取った「振替払込請求書兼受領証」やATMで発行されるレシート（利用明細票）、ゆうちょダイレクトの場合は振込内容をご自身で印刷した書類を「入学願書」裏面の所定欄に貼付してください。「振替払込請求書兼受領証」は返送しませんので、原本が必要な場合はコピーの送付をお願いいたします。 発行手数料は、必ず過不足のない金額をお振込みください。（指定口座への振込手数料は、申込者の負担とさせていただきます。）ゆうちょ銀行（郵便局）の窓口取り扱いは、土・日・祝日が休業日なので注意すること。なお、納入された検定料は、24頁の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 【本学指定の振込口座】 ゆうちょ銀行 当座預金 01320-1-40704 支店番号 139 支店名 一三九店（イチサンキョウ店） （加入者名）国立大学法人 山口大学
11	受験票送付用封筒	封筒（切手不要）に，本人の住所・氏名・郵便番号を記入すること。（学内在籍者で窓口を受け取りに来る者は不要）

※①の『TOEICのスコアシート又はTOEFLのスコアレポート（どちらも原本）』は、英語を母語としない者は必ず提出すること。

※②の『日本留学試験の日本語科目の成績通知証又は日本語能力試験・合否結果通知書（原本）』は、日本語を母語としない者は必ず提出すること。

3. 出願方法

入学志願者は，出願書類等（振替払込受付証明書を含む。）を取りまとめ，封筒により本研究科あてに提出してください。

郵送する場合は，必ず書留速達郵便とし，4. 提出先まで送付してください。

4. 提出先

〒753-8514 山口市吉田1677-1
山口大学経済学部大学院係
TEL : 083-933-5597 FAX : 083-933-5514
E-mail : ec191@yamaguchi-u.ac.jp

IV 選 抜 方 法

入学者の選抜は、口述試験及び成績証明書等の提出書類を総合して行います。

V 試験期日及び試験場

1. 試験期日

令和8年11月4日(水)	15:00～	口述試験
--------------	--------	------

2. 試験場

山口大学経済学部（山口市吉田1677-1）

VI 合 格 発 表

合格者の発表は下記の日時、場所に受験番号を掲示及びHP上に受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。不合格者に対する通知は行いません。

なお、電話その他による合・否の問い合わせには応じません。

日 時	場 所
令和8年11月27日(金) 正午	山口大学経済学部玄関前

【社会人入試（第1回，第2回）】

社会人入試（第1回，第2回）

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（主として夜間に履修する方法）による社会人受入れに関し，次のとおり募集します。

I 募集人員

プログラム	コース	募集人員
経済学	経済社会政策	若干名
経営学	中山間地マネジメント 医療・福祉経営 税務	

II 出願資格

次の各号のいずれかにの要件を満たし，かつ，令和9年3月末日までに継続して2年以上の社会人の経験を有することとなる者

（注）定時制，通信制及び夜間部以外の学校（大学を含む。）の在学期間は，社会人の経験期間に含まない。

1. 大学を卒業した者及び令和9年3月末日までに卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者または令和9年3月末日までに学士の学位を授与見込みの者
3. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者または令和9年3月末日までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または令和9年3月末日までに修了見込みの者
5. 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または令和9年3月末日までに修了見込みの者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者または令和9年3月末日までに修了見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

9. 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月末日までに22才に達しているもの
11. 上記1～10にかかわらず、令和9年3月末日までに次の(1)～(4)のいずれかに該当する者であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

(1) 大学に3年以上在学した者

※学部3年次生を対象とする入試に関する募集要項については「学部3年次生を対象とする入試」を参照してください。

(2) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者

(4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(注) II出願資格9～11(11(4)を除く。)により出願しようとする者は、第1回出願希望者は令和8年9月11日(金)、第2回出願希望者は令和8年12月8日(火)までに、出願資格認定申請を行い、事前審査を受ける必要があります。

なお、申請様式は、申請希望者にのみ大学院係より送付します。第1回出願希望者は令和8年8月28日(金)、第2回出願希望者は令和8年11月25日(水)までに必ず下記照会先へ出願資格認定申請書(様式)の送付依頼をしてください。

照会先：〒753-8514 山口市吉田1677-1

山口大学経済学部大学院係

TEL：083-933-5597 E-mail：ec191@yamaguchi-u.ac.jp

III 出願手続

1. 出願期間

第1回	令和8年9月28日(月)～10月5日(月)
第2回	令和9年1月4日(月)～1月8日(金)

(1) 持参による出願は、8時30分から17時までとします。

(2) 郵送の場合は、第1回及び第2回ともそれぞれ出願期間最終日までに必着とします。

2. 出願書類等

番号	書類等	摘要
1	入学願書	本研究科所定の用紙、志望専攻の入学願書を用いること。
2	写真票・受験票・あて名票	本研究科所定の用紙、写真票には出願前3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼ること。
3	卒業(見込)証明書	II出願資格2により出願する者は提出を必要としない。
4	学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請予定証明書	II出願資格2に該当する者のみ提出すること。

5	志望理由書	本研究科所定の用紙。
6	成績証明書	出身大学長又は学部長が証明し、厳封したもの。
7	研究計画書	本研究科所定の用紙。 事前に希望教員と相談のうえ作成，提出してください。 教員の連絡先については，大学院係が窓口となりますので，必ず以下までお問合せ下さい。 山口大学経済学部大学院係：ec191@yamaguchi-u.ac.jp
8	研究計画書に基づく論文	研究計画書に基づいてテーマを設定し，作成した論文（A4の用紙を使用し，4000字程度）を提出すること。
9	証明書（出願資格6用）	本研究科所定の用紙，出願資格6による出願者のみ提出すること。出身学校長又は在籍する学校の学校長が証明したもの。
10	検定料 30,000円	払込取扱票に，氏名等必要事項及び，人間社会科学研究科経済学・経営学専攻 入試検定料，と記入のうえ最寄りのゆうちょ銀行（郵便局）から山口大学指定の口座へ振り込んだ後，ゆうちょ銀行（郵便局）から受け取った「振替払込請求書兼受領証」やATMで発行されるレシート（利用明細票）、ゆうちょダイレクトの場合は振込内容をご自身で印刷した書類を「入学願書」裏面の所定欄に貼付してください。「振替払込請求書兼受領証」は返送しませんので、原本が必要な場合はコピーの送付をお願いいたします。 発行手数料は、必ず過不足のない金額をお振込みください。（指定口座への振込手数料は、申込者の負担とさせていただきます。）ゆうちょ銀行（郵便局）の窓口取り扱いは、土・日・祝日が休業日なので注意すること。なお、納入された検定料は、24頁の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 【本学指定の振込口座】 ゆうちょ銀行 当座預金 01320-1-40704 支店番号 139 支店名 一三九店（イチサンキュウ店） （加入者名）国立大学法人 山口大学
11	受験票送付用封筒	封筒（切手不要）に，本人の住所・氏名・郵便番号を記入すること。（学内在籍者で窓口を受け取りに来る者は不要）

3. 出願方法

入学志願者は，出願書類等（振替払込受付証明書を含む。）を取りまとめ，封筒により本研究科あてに提出してください。

郵送する場合は，5. 提出先まで必ず書留速達郵便で送付してください。

4. 出願に当たっての注意

- (1) 入学に関して，勤務先等の協力が得られること
- (2) 研究指導を希望する教員の選択に際し，自分の研究計画と合致するかどうかさらに情報の必要な者は経済学部大学院係に連絡してください。

5. 提出先

〒753-8514 山口市吉田1677-1
山口大学経済学部大学院係
TEL : 083-933-5597 FAX : 083-933-5514
E-mail : ec191@yamaguchi-u.ac.jp

IV 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力試験（筆記試験、口述試験）、成績証明書、研究計画書に基づく論文等の提出書類を総合して行います。

○学力試験について

プログラム名	コース名	試験教科	備 考
経済学	経済社会政策	小論文	「研究計画書」及び「研究計画書に基づく論文」に関連して出題します。
		口述試験	30分程度行います。
経営学	中山間地マネジメント 医療・福祉経営 税務	小論文	「研究計画書」及び「研究計画書に基づく論文」に関連して出題します。
		口述試験	30分程度行います。

V 試験期日及び試験場

1. 試験期日

第1回	令和8年11月4日(水)	13:00~14:30	小論文
		15:00~	口述試験
第2回	令和9年 2月 3日(水)	13:00~14:30	小論文
		15:00~	口述試験

2. 試験場

山口大学経済学部（〒753-8514 山口市吉田1677-1）

VI 合 格 発 表

合格者の発表は下記の日時、場所に受験番号を掲示及びHP上に受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。不合格者に対する通知は行いません。

なお、電話その他による合・否の問い合わせには応じません。

	日 時	場 所
第1回	令和8年11月27日(金) 正午	山口大学経済学部玄関前
第2回	令和9年 2月26日(金) 正午	山口大学経済学部玄関前

【学部 3 年次生を対象とする入試】

学部3年次生を対象とする入試

山口大学大学院学則第28条第2項に定める「大学に3年以上在学し、研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者」に関し、次のとおり募集します。

I 募集人員

プログラム	コース	募集人員
経済学	経済社会政策	若干名
経営学	中山間地マネジメント 医療・福祉経営 税務	

II 出願資格

出願時、大学3年次に在学するもので、令和9年3月末日において大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得見込みの者

(注) ① 所定の単位とは、専門科目74単位以上を含む計114単位以上とする。

② 出願希望者は、令和8年11月6日(金)までに「出願資格認定申請書」を提出し、事前審査を受けなければなりません。

なお、申請様式は、申請希望者にのみ大学院係より送付します。出願希望者は、令和8年10月9日(金)までに必ず下記連絡先までに、「出願資格認定申請書(様式)」の送付依頼をしてください。

連絡先：〒753-8514 山口市吉田1677-1

山口大学経済学部大学院係

TEL：083-933-5597 E-mail：ec191@yamaguchi-u.ac.jp

III 出願手続

1. 出願期間

令和9年 1月 4日(月)～ 1月8日(金)

(1) 持参による出願は、8時30分から17時までとします。

(2) 郵送の場合は、出願期間最終日までに必着とします。

2. 出願書類等

番号	書類等	摘要
1	入学願書	本研究科所定の用紙、志望専攻の入学願書を用いること。
2	写真票・受験票・あて名票	本研究科所定の用紙、写真票には出願前3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼ること。
3	志望理由書	本研究科所定の用紙。
4	成績証明書	出身大学長又は学部長が証明し、厳封したもの。

5	TOEICのスコアシート又はTOEFLのスコアレポート(どちらも原本)	TOEICのスコアシートについては、令和6年4月以降に受験したものを提出すること。提出対象となるスコアは、公開テストもしくは団体特別受験制度<IP>のものとする。また、TOEFLのスコアレポートについては、有効期限内のものに限る。
6	検定料 30,000円	<p>払込取扱票に、氏名等必要事項及び、人間社会科学研究科経済学・経営学専攻 入試検定料、と記入のうえ最寄りのゆうちょ銀行(郵便局)から山口大学指定の口座へ振り込んだ後、ゆうちょ銀行(郵便局)から受け取った「振替払込請求書兼受領証」やATMで発行されるレシート(利用明細票)、ゆうちょダイレクトの場合は振込内容をご自身で印刷した書類を「入学願書」裏面の所定欄に貼付してください。「振替払込請求書兼受領証」は返送しませんので、原本が必要な場合はコピーの送付をお願いいたします。</p> <p>発行手数料は、必ず過不足のない金額をお振込みください。(指定口座への振込手数料は、申込者の負担とさせていただきます。)ゆうちょ銀行(郵便局)の窓口取り扱い、土・日・祝日が休業日なので注意すること。なお、納入された検定料は、24頁の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。</p> <p>本学指定の振込口座】 ゆうちょ銀行 当座預金 01320-1-40704 支店番号 139 支店名 一三九店(イチサンキュウ店) (加入者名) 国立大学法人 山口大学</p>
7	受験票送付用封筒	封筒(切手不要)に、本人の住所・氏名・郵便番号を記入すること。(学内在籍者で窓口を受け取りに来る者は不要)

※3年次までのすべての修得単位が記載された成績証明書を、令和9年2月12日(金)までに本研究科あてに提出してください。

3. 出願方法

- (1) 入学志願者は、出願書類等(振替払込受付証明書を含む。)を取りまとめ、封筒により本研究科あてに提出してください。
- (2) 郵送する場合は、必ず下記4.提出先までに書留速達郵便で送付してください。

4. 提出先

〒753-8514 山口市吉田1677-1
山口大学経済学部大学院係
TEL : 083-933-5597 FAX : 083-933-5514
E-mail : ec191@yamaguchi-u.ac.jp

IV 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力試験（筆記試験、口述試験）、成績証明書等の提出書類を総合して行います。

○学力試験について

プログラム名	コース名	試験教科	備考
経済学	経済社会政策	筆記試験 (論文)	論文試験は募集要項(27頁)に記載の研究科目から、各自の志望研究科目1科目について行います。なお、選択する研究科目名を必ず入学願書に記入してください。
		口述試験	30分程度行います。
経営学	中山間地マネジメント 医療・福祉経営 税務	筆記試験 (論文)	論文試験は募集要項(28頁)に記載の研究科目から、各自の志望研究科目1科目について行います。なお、選択する研究科目名を必ず入学願書に記入してください。
		口述試験	30分程度行います。

V 試験期日及び試験場

1. 試験期日

令和9年 2月3日(水)	13:00~14:30	論文
	15:00~	口述試験

2. 試験場

山口大学経済学部（〒753-8514 山口市吉田1677-1）

VI 合 格 発 表

合格者の発表は下記の日時、場所に受験番号を掲示及びHP上に受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。不合格者に対する通知は行いません。

なお、電話その他による合・否の問い合わせには応じません。

日 時	場 所
令和9年 3月3日(水) 正午	山口大学経済学部玄関前

【外国人留学生入試（第1回，第2回）】

外国人留学生入試（第1回，第2回）

I 募集人員

プログラム	コース	募集人員
経済学	経済社会政策	若干名
経営学	中山間地マネジメント 医療・福祉経営 税務	

II 出願資格

日本の国籍を有しない者。また、2024年11月実施分以降に受験した独立行政法人日本学生支援機構が主催する日本留学試験の日本語科目の成績が、『聴解・聴読解』、『読解』の合計点については230点以上、『記述』については33点以上の者、又は、独立行政法人国際交流基金及び公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験においてN1を取得した者で、次の各号のいずれかに該当する者。

1. 日本の大学を卒業した者または2027年3月末日までに卒業見込みの者
2. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者または2027年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者
3. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者または2027年3月末日までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2027年3月末日までに修了見込みの者
5. 日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または2027年3月末日までに修了見込みの者
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2027年3月末日までに修了見込みの者
7. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
8. 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
※下記の（注意）を必ずお読みください。
9. 研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027年3月末日までに22才に達しているもの
※下記の（注意）を必ずお読みください。
10. 外国において、学校教育における15年の課程を修了し、又は2027年3月末日までに修了見込みであり、かつ、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められる者で、外国の大学の経済・経営・商学系、法律系又は経営情報・経営工学系の学部、学科に在学し、又は卒業している者

(注意) II出願資格8～10により出願しようとする者は、第1回出願希望者は2026年9月11日(金)、第2回出願希望者は2026年12月8日(火)までに**出願資格認定申請**をし、事前審査を受ける必要があります。

なお、申請様式は申請希望者にのみ大学院係より送付します。第1回出願希望者は2026年8月28日(金)、第2回出願希望者は2026年11月25日(水)までに必ず下記照会先へ**出願資格認定申請書(様式)**の送付依頼をしてください。

提出された卒業証明書、学位証明書等が本物であることを出願後に確認します。

照会先：〒753-8514 山口市吉田1677-1 山口大学経済学部大学院係 TEL：083-933-5597 E-mail：ec191@yamaguchi-u.ac.jp
--

III 出願手続

1. 出願期間

第1回	2026年9月28日(月)～10月5日(月)
第2回	2027年1月4日(月)～1月8日(金)

(1) 持参による出願は、8時30分から17時までとします。

(2) 郵送の場合は、第1回及び第2回ともそれぞれ出願期間最終日までに必着とします。

2. 出願書類等

番号	書類等	摘要
1	入学願書	本研究科所定の用紙、志望専攻の入学願書を用いること。
2	写真票・受験票・あて名票	本研究科所定の用紙、写真票には出願前3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼ること。
3	卒業(見込)証明書	II出願資格2により出願する者は提出を必要としない。
4	学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請予定証明書	II出願資格2に該当する者のみ提出すること。
5	志望理由書	本研究科所定の用紙。
6	最終学業成績証明書	出身大学が発行したもの。
7	研究計画報告書 ア. これまでの研究経過 イ. 今後の研究テーマと研究計画	原則として本研究科所定の用紙に記入すること。 事前に希望教員と相談のうえ作成、提出してください。 教員の連絡先については、大学院係が窓口となりますので、必ず以下までお問合せ下さい。 山口大学経済学部大学院係：ec191@yamaguchi-u.ac.jp
8	日本留学試験の日本語科目の成績通知証又は日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書(原本)	日本留学試験の日本語科目の成績通知証については、2024年11月実施分以降に受験したものを提出すること。
9	外国籍を証明する書類	在留カードの写し又はパスポートの写し

10	証明書（出願資格6用）	本研究科所定の用紙，出願資格6による出願者のみ提出すること。出身学校長又は在籍する学校の学校長が証明したもの。
11	検定料 30,000円	<p>払込取扱票に，氏名等必要事項及び，人間社会科学研究科経済学・経営学専攻 入試検定料，と記入のうえ最寄りのゆうちょ銀行（郵便局）から山口大学指定の口座へ振り込んだ後，ゆうちょ銀行（郵便局）から受け取った「振替払込請求書兼受領証」やATMで発行されるレシート（利用明細票）、ゆうちょダイレクトの場合は振込内容をご自身で印刷した書類を「入学願書」裏面の所定欄に貼付してください。「振替払込請求書兼受領証」は返送しませんので、原本が必要な場合はコピーの送付をお願いいたします。</p> <p>発行手数料は、必ず過不足のない金額をお振込みください。（指定口座への振込手数料は、申込者の負担とさせていただきます。）ゆうちょ銀行（郵便局）の窓口取り扱いは、土・日・祝日が休業日なので注意すること。なお、納入された検定料は、24頁の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。</p> <p>本学指定の振込口座】 ゆうちょ銀行 当座預金 01320-1-40704 支店番号 139 支店名 一三九店（イチサンキュウ店） （加入者名）国立大学法人 山口大学</p>
12	受験票送付用封筒	封筒（切手不要）に，本人の住所・氏名・郵便番号を記入すること。（学内在籍者で窓口を受け取りに来る者は不要）

※外国語で作成された書類には，日本語訳を添付してください。

3. 出願方法

入学志願者は，出願書類等（振替払込受付証明書を含む。）を取りまとめ，封筒により本研究科あてに提出してください。

郵送する場合は，必ず書留速達郵便としてください。

4. 提出先

〒753-8514 山口市吉田1677-1

山口大学経済学部大学院係

TEL : 083-933-5597 FAX : 083-933-5514

E-mail : ec191@yamaguchi-u.ac.jp

IV 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力試験（筆記試験、口述試験）、研究計画報告等の提出書類を総合して行います。

○学力試験について

プログラム名	コース名	試験教科	備考
経済学	経済社会政策	筆記試験 (専門科目)	論文試験は募集要項(27頁)に記載の研究科目を試験科目として、各自あらかじめ選択した志望研究科目1科目について行います。出題は日本語で行います。日本語で解答してください。なお、選択する研究科目名を必ず入学願書に記入してください。
		口述試験	30分程度行います。
経営学	中山間地マネジメント 医療・福祉経営 税務	筆記試験 (専門科目)	論文試験は募集要項(28頁)に記載の研究科目を試験科目として、各自あらかじめ選択した志望研究科目1科目について行います。出題は日本語で行います。日本語で解答してください。なお、選択する研究科目名を必ず入学願書に記入してください。
		口述試験	30分程度行います。

V 試験期日及び試験場

1. 試験期日

第1回	2026年11月4日(水)	13:00~14:30	専門科目試験
		15:00~	口述試験
第2回	2027年 2月 3日(水)	13:00~14:30	専門科目試験
		15:00~	口述試験

2. 試験場

山口大学経済学部（〒753-8514 山口市吉田1677-1）

VI 合 格 発 表

合格者の発表は下記の日時、場所に受験番号を掲示及びHP上に受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。不合格者に対する通知は行いません。

なお、電話その他による合・否の問い合わせには応じません。

	日 時	場 所
第1回	2026年11月27日(金) 正午	山口大学経済学部玄関前
第2回	2027年 2月26日(金) 正午	山口大学経済学部玄関前

【共通事項】

○共通事項

1. 出願手続後は、書類の返却及び記載事項の変更は認められません。

2. 入学時の必要経費

(1) 入学料（入学手続時納付） 282,000円（予定額）

(2) 授業料（入学後納付） 前期分 321,480円（予定額）

後期分 321,480円（予定額）

(注) ① 本募集要項公表後、令和9年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納入されていた場合は、改定額との差額を納付していただくこととなります。

② 在学中の授業料の納付は、入学手続時にゆうちょ銀行（郵便局）へ提出する授業料自動払込利用申込書（入学手続き書類とともに郵送します。）に基づき、前期分は令和9年5月末日、後期分は令和9年11月末日（末日が土・日曜の場合は、その前の平日）にゆうちょ銀行（郵便局）の学生（又は学資負担者）名義の貯金口座から自動的に引き落とし大学に納付することとなります。引落日の前日までに必ず入金しておいてください。

③ 自動振込利用申込書の作成手続きは、ゆうちょ銀行（郵便局）に学生（又は学資負担者）名義の口座を開設（既に口座がある場合はその口座を使用します。）し、郵便局へ提出することとなります。

④ 授業料は、在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。

⑤ 入学料及び授業料の納付が困難な者に対しては、それぞれ免除する制度があります。この制度により入学料及び授業料の免除を希望する者は、下記へ問い合わせてください。（授業料免除の申請を行う場合も自動払込利用申込書の提出が必要になります。）

〒753-8511 山口市吉田1677-1

山口大学学生支援部学生支援課学生サービス係

TEL：083-933-5164・5611

3. 身体に障がい等のある入学希望者で、受験上及び修学上に特別な配慮を希望する場合は、電話、FAX又はE-mailなどにより、事前に下記連絡先まで申し出てください。事前相談書の様式をお渡しいたしますので、事前相談書とそれに関連する資料とともに第1回出願希望者は令和8年8月28日(金)、第2回出願希望者は令和8年11月25日(水)までに提出してください。

推薦入試を希望する方で事前相談を行う方は、上記第1回の日程で相談してください。

学部3年生を対象とする入試を希望する方は、上記第2回の日程で相談してください。

【連絡先】

〒753-8514 山口市吉田1677-1

山口大学経済学部大学院係

TEL：083-933-5597 FAX：083-933-5514

E-mail：ec191@yamaguchi-u.ac.jp

出願書類等については、この山口大学大学院経済学研究科（修士課程）入学者選抜において必要なため提出していただくものであり、これによって得た個人情報、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条第2項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

検定料の返還について

1. 次に該当した場合は納付済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納付済みであるが山口大学に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納付した場合
- ③ 出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

2. 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、山口大学経済学部大学院係へ連絡してください。連絡があった後に「払戻請求書」用紙を送付しますので、必要事項を記入のうえ、郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「払戻請求書」等を同封しますので、必要事項を記入のうえ、次の連絡先へ郵送してください。

(連絡先)	〒753-8511 山口市吉田 1677-1 山口大学財務部財務課出納係 TEL : 083-933-5098
-------	--

長期履修学生について

長期履修学生とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することが認められた者をいいます。

長期履修学生に認められた者は、修学年数に関係なく、標準修業年限（2年）分の授業料で修学することができます。

1. 申請資格

長期履修学生として申請することができる者は、次のいずれかに該当する者となります。

- (1) 職業を有する者
- (2) 育児を行う必要がある者
- (3) 親族の介護を行う必要がある者
- (4) 山口大学と外国の大学とのダブル・ディグリー・プログラムに関するガイドラインに基づき実施される教育課程において、標準修業年限を超えて学修する必要がある者
- (5) その他特別な理由があると認められた者

2. 申請手続

長期履修学生となることを希望する者は、入学手続き書類とともに次の書類を提出してください。

- (1) 長期履修学生申請書
- (2) 在職証明書（職業を有する者に限る。）

※希望者は様式の送付依頼を下記6の照会先に行ってください。

3. 履修及び研究計画

長期履修学生の申請にあたっては、履修及び研究計画について、あらかじめ志望指導教員とよく相談をする必要があります。

4. 可否の認定

申請書類に基づき審査のうえ、認定の可否を4月中旬に通知しますので、通知があるまで、授業料は納付しないでください。

5. 長期履修期間

長期履修学生として、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認められる期間は年度単位とし、期間は次のとおりです。

- (1) 入学時からの在学期間は3年又は4年となります。
- (2) 2年次以降から認められた者は、残りの修業年限に1年又は2年を加えた年数となります。

6. 長期履修学生についての照会先

山口大学大学院経済学研究科（山口大学経済学部大学院係） 〒753-8514 山口市吉田1677-1 TEL：083-933-5597 FAX：083-933-5514 E-mail：ec191@yamaguchi-u.ac.jp

【演習担当教員一覧】

経済学プログラム 演習担当教員一覧

研究科目	担当教員	研究領域	
経済学	教授 寺地 伸二	制度の経済学	行動経済学
	准教授 山田 正雄	経済成長論	景気循環論
	准教授 小嶋 寿史	応用ミクロ経済学	財政学
	講師 富田 愛優	財政学	マクロ経済学
	講師 前原 ひとみ	政治経済学	経済理論
経済変動論	△教授 馬田 哲次	マクロ経済	経済心理
金融論	教授 兵藤 隆	金融論	貨幣論
福祉社会学	教授 鍋山 祥子	地域福祉論	ジェンダー論
経済史	教授 木部 和昭	日本経済史	地域経済史
	教授 古賀 大介	欧米経済史	金融史
労働経済論	教授 濱島 清史	東アジアの社会政策論	東アジアの政労使関係論
地域経済論	教授 齋藤 英智	地域経済	地域政策
環境経済論	教授 陳 禮俊	環境経済論	経済政策論
	准教授 諏訪 竜夫	環境評価論	計量経済分析
中国経済論	教授 陳 建平	中国経済論	東アジア経済論
国際協力論	教授 石川 剛生	国際協力論	途上国経済開発論
国際開発論	准教授 山本 勝也	国際開発政策	開発思想
	准教授 麻田 玲	開発研究	南アジアの農村開発
国際経済学	准教授 高橋 美多	国際経済学	アジア経済論
国際金融論	准教授 前田 直哉	国際金融論	国際通貨論
政治思想	教授 渡邊 幹雄	政治思想	政治制度
国際政治学	准教授 八代 拓	国際政治史	日本外交史
民法	教授 三間地 光宏	契約法	不法行為法
	准教授 小林 友則	財産法	契約法
刑法	教授 櫻庭 総	刑法	刑罰論
経済法	准教授 佐藤 佳邦	経済法	商法
社会法	准教授 鄒庭 雲	社会法	労働法
行政法	教授 石龍 潭	行政法	地方自治法
	准教授 山本 敬生	行政法	日本国憲法
憲法	講師 朱 穎嬌	憲法	生命倫理
異文化コミュニケーション論	教授 藤村 香予	応用言語学語用論	社会言語学
文化論	教授 武本 Timothy	文化心理学	日本文化
英文学	△教授 正宗 聡	ナラトロジー	近現代英国小説
観光論	教授 朝水 宗彦	観光政策論	国際関係論
	准教授 ベルラキ ディーネシュ ベテル	観光コミュニケーション	観光政策論

- (注) 1. 担当教員等は一部変更される場合があります。
 2. △の教員は、令和9年度は研究指導する学生を募集しません。
 その他、ご不明な点は大学院係までご連絡ください。

経営学プログラム 演習担当教員一覧

研究科目		担当教員	研究領域	
中山間地 マネジメント及び 税務 コース	国際経営	教授 有村 貞則	国際経営の基礎	国際経営の特殊問題
	経営数理	△教授 渋谷 綾子	最適化問題	数理計画法
	租税法	教授 山中 英司	租税法の基礎	税法
	会計論	講師 藤田 智丈	管理会計論	原価計算
	企業経営	教授 宮井 浩志	地域企業経営	農業・農村経営
	経営戦略	准教授 平野 哲也	経営戦略論の基礎	中小企業・アントレプレナーシップ
	流通	准教授 藤田 健	現代流通研究の基礎	現代流通研究の特殊問題
	商品学	准教授 柳田 卓爾	商品研究の基礎	商品研究の特殊問題
	財務会計	准教授 岡田 隆子	実証会計	無形資産会計
		准教授 土井 貴之	財務会計	会計史
		講師 肖 森	会計制度	企業会計制度
	会計学	教授 新祖 隆志郎	会計理論	現代会計論
	組織の経済学	准教授 川村 一真	契約理論の基礎	組織の経済学
	マーケティング	准教授 王 慧娟	マーケティング研究の基礎	小売マーケティング
教授 西尾 建		スポーツツーリズム	ホスピタリティーマネジメント	
准教授 國崎 歩		観光メディア論	マーケティング	
経医療 コー 福 ス社	医療経済学	准教授 袁 麗暉	医療提供システムと医療保険制度	中国の医療システム
	医療マネジメント	△教授 中田 範夫	病院のバランス・スコアカード研究	病院の原価計算論研究
	医療経済学	教授 角田 由佳	医療・看護の労働問題	看護経済・政策論
	社会保障論	教授 田畑 雄紀	社会保障制度	諸外国の医療保障制度

- (注) 1. 担当教員等是一部変更される場合があります。
 2. △の教員は、令和9年度は研究指導する学生を募集しません。
 その他、ご不明な点は大学院係までご連絡ください。